

図 51 政府調達政策-中小企業需要創生法案(2015/3/10 閣議決定) 3.(4) -3

官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律の一部改正の概要

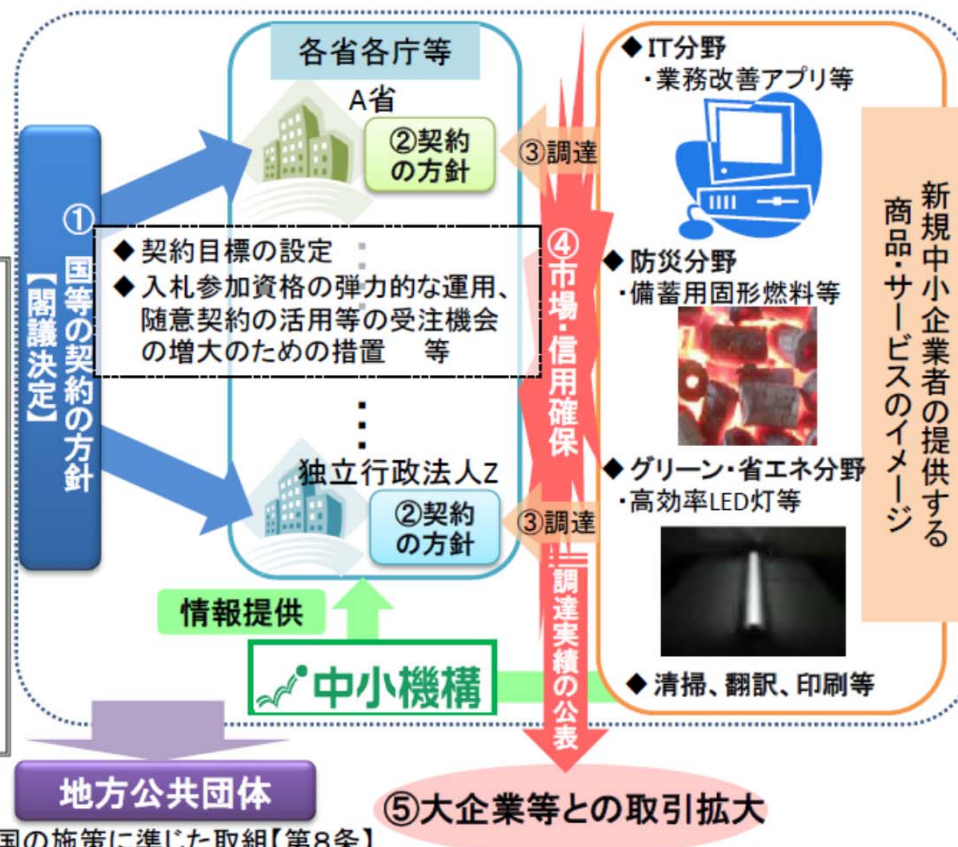
- 創業間もない中小企業は、優れた商品・サービスを有していても一般に実績がなく、販路の拡大が課題。
そのため、官公需(約8兆円)において実績を得ることは、その後の市場の確保、信用向上に極めて有効。
- 一方、官公需においても、実績のない企業はそもそも発注者(国等)に知られる機会が少なく、また企業の信用が十分でないとの理由から発注者に敬遠される傾向にあり、受注機会が限られている。

官公需における中小企業の受注機会の確保を図ることを目的とする官公需法を改正し、創業間もない中小企業について受注機会の増大を図ることが肝要。

改正の概要(現行法への追加事項)

- (1) 新規中小企業者(創業10年未満の中小企業者)への配慮
【第2条、第3条】
- (2) 国等の契約方針(基本方針)の策定
【第4条】
- (3) 各省各庁等の契約方針の策定
【第5条】
- (4) 契約実績の概要公表
【第6条】
- (5) (独)中小機構の情報提供
【第9条】

※平成26年度の国等の契約方針では、中小企業・小規模事業者向け契約目標額を4.4兆円、同契約目標率を、過去最高の56.7%とした。 ◆国の施策に準じた取組【第8条】



○ EUでは年間100億ユーロ程度の予算をPCPとPPIのために確保することが提案されている。

	施策項目	施策内容
1	PPI (Public procurement of innovation : イノベーションに向けた公共調達)	既存の製品・技術では実現困難な仕様で調達を行うことで、結果的に調達物・サービスにおけるイノベーションを促進する。
2	PCP (Pre-commercial public procurement : 商用前調達)	企業のR&Dに企画開発段階から関与しながら、商用化前段階のイノベーション成果の調達を図る。

(EUにおけるPCPの具体例)

プロジェクト名	概要	プロジェクト期間・予算
SILVER	・ロボット技術により高齢者のための自立生活を支援する ・2020年までに10%以上の高齢者の世話をすることが可能となることを目指す ・デンマーク、スウェーデン、フィンランド、英国、オランダの各国の都市が参加	Jan 2012開始 (45 months) Value PCP: 2,156Mユーロ
CHARM	・各国が共通で保有する次世代交通管理システムを提供するという課題に対処するための新たな技術やサービスを特定する ・オープンモジュラー交通マネジメントアーキテクチャを開発する	Sept 2012 開始(48 months) Value PCP: 2,88Mユーロ
PRACE 3IP	・高エネルギー効率に焦点を当てた革新的なHPC (High Performance Computer) のプロトタイプを開発する	1 July 2012開始 (48 months) Value PCP: 9Mユーロ
VCON	・ビルディングインフォメーションモデリング (BIM) の手法を用いて、公共インフラ分野でのデータ交換を改善することにより、国道当局の効率性と有効性の向上を目指す	Oct 2012開始 (48 months) Value PCP: 1,467Mユーロ
ENIGMA	・次世代ICTアプリケーションを利用し、都市の安全性やエネルギー効率のための劇的な改善をもたらすために革新的なソリューションを開発	October 2013開始 (36 months) Value PCP: 3,77M
THALEA	・リスクが高いICU入院患者を検出するための相互運用性の高い遠隔医療プラットフォームを開発	February 2014開始(42 months) Value PCP: 1,55Mユーロ